



実りある2学期に

残暑厳しい中ではありますが、いよいよ今日から2学期が始まりました。長い夏休みを経て、子どもたちはそれぞれに様々な経験を積み、少し成長した姿で登校してくれたことと思います。

始業式では、全校生徒に向けて「気持ちの切り替え」と「再スタートの大切さ」について話をしました。夏休みの余韻が残る中で、学校生活への意識を取り戻し、前向きな気持ちで新学期を迎えてほしいという願いを込めて、話しの中で次の2つの言葉も紹介しました。

「未来は、今、何をするかで決まる。」 by ガンディー ※ こちらは1学期終業式でも紹介しています。

「成功とは、失敗を重ねても情熱を失わないことである。」 by チャーチル

これらの言葉を通して、過去の失敗や不安にとらわれるのではなく、今この瞬間の行動が未来をつくるということを改めて伝えました。

また、2学期のスタートにあたり、「今日から何か一つ意識して実践してみよう」という小さな行動の提案も行いました。授業中の姿勢、発言、ノートの取り方など、どんなことでも構いません。小さな一歩が、やる気のスイッチとなり、学びの質を高めていくことにつながります。

保護者の皆様におかれましても、ぜひお子様との会話の中で、2学期の目標や意欲について話題にいただければ幸いです。

今学期も、学校と家庭、地域が連携しながら、子どもたちの成長を支えてまいりましょう。

どうぞよろしくお願いいたします。

残暑に伴う暑さ対策について

朝は少し涼しさを感じるようになってはきましたが、日中は猛暑日が続いております。暑さ対策として「体操服登校」を可としておりましたが、9月も継続したいと思います。天候や体調に合わせ、その日の服装を判断していただきますようお願いいたします。なお、10月以降については改めてお知らせします。

なお、体育の授業がある際は、授業後の着替え(替えの体操服や制服、肌着等)も併せて持たせてください。1学期は汗だくのまま過ごす生徒もおりましたので、よろしくお願いします。

校長室より チャーチルと「Vサイン」

始業式では、イギリスの元首相チャーチルの言葉を紹介しましたが、実は彼は「Vサイン(Victoryサイン)」を広めた人物でもあります。

「Vサイン」とは、人差し指と中指を広げてつくるポーズで、今では写真を撮るときの定番ポーズにもなっていますね。でも、もともとは「勝利(Victory)」を意味するサインとして使われていました。

第二次世界大戦中、チャーチルは、ナチス・ドイツとの厳しい戦いの中で、国民の士気を高めるために「V for Victory(勝利のV)」というキャンペーンを支持しました。彼自身も演説や記者会見の場で、力強くVサインを掲げて「絶対に負けない」という意志を示したのです。

このチャーチルの姿勢は、戦争に苦しむ人々に勇気を与え、やがてこのサインは世界中に広まりました。後には、1960年代の反戦運動の中で「平和の象徴」としても使われるようになり、今では「ピースサイン」として親しまれています。

チャーチルのVサインは、困難な状況でも希望を持ち続けることの大切さを教えてくれます。

生徒のみなさんにも、どんなときでも前向きな気持ちを忘れずにいてほしいと思います。(^^)v